

## 手作り力士で真剣勝負

### 放課後児童クラブで紙相撲大会

2月4日、第一児童館・白石第一小学校放課後児童クラブの「紙相撲大会」が第一児童館で行われました。この大会は、室内遊びが多くなる冬の間、一人一人が工夫しながら元気に遊べるようにと平成18年から毎年実施している冬の恒例行事。身長約10cmの紙相撲力士は児童が厚紙を切り取り顔やまわしなどを描き、オリジナルの「しこ名」を付けて作り上げました。

参加した児童は「自分で作った紙相撲力士で遊ぶのがおもしろかった。勝つか負けるか分からないのでドキドキします」と笑顔で話してくれました。



▲友達が見守る中、指先に力を込め勝負をする児童たち

## 鬼は外！ 福は内！

### 北保育園・ひかり幼稚園の園児が豆まき

2月3日、「豆まきの会」（白石まちづくり株式会社主催）がすまいるひろばで開催されました。「子どもたちに日本の伝統行事を伝えるとともに、子どもたちの笑顔で街に元気を届けたい」と始まったこの催しも今年で10回目で、北保育園とひかり幼稚園の園児約250人が参加。鬼退治でおなじみの桃太郎に扮した園児たちは、ひろばに現れた赤鬼「ごみ散らかし鬼」、青鬼「意地悪鬼」、黄鬼「かぜひき鬼」に、新聞紙を丸めて作った「豆」で鬼を退散させました。最後は反省した鬼たちと仲直りし一緒にダンスを披露。訪れた人たちを楽しませていました。



▲「鬼は外！ 福は内！」の掛け声に合わせて一斉に豆を投げる園児たち

## 待て待て待て～！

### 第38回動くジャンボカルタ取り大会

1月26日、児童手作りの特大絵札を鬼ごっこの要領で取り合う白川小学校の冬の恒例行事「動くジャンボカルタ取り大会」が同小で行われました。この日は、同小の児童や4月に入学する白川保育園の園児など約80人が参加。参加した児童は「この大会は全校児童と一緒にできるのでとても楽しい」と話してくれました。

この催しは、同小を縦割りし、4つのグループで競うチーム戦で、学年を越えて取り組むところが魅力。参加した児童たちは、それぞれが練った戦略で絵札を捕まえようと、元気いっぱい走り回っていました。



▲小学生が背負う絵札を捕まえようと元気に追いかける園児たち

## だれになる？ なにになる？

### 大平小学校で出前アート大学

1月30日、「出前アート大学」（多摩美術大学校友会主催）が大平小学校で開催されました。この催しは、作品を作る面白さ、作品を身につけて自分以外の物や人になって見せる面白さの両方を体験することを目的に開催。

この日は、全校児童85人が「宇宙」や「ジャングル」など4つのテーマに分かれ、段ボールや紙袋で作った顔にリボンやビーズを飾り付けてオリジナルの着ぐるみを作りました。参加した児童たちは「お気に入りの作品ができた」「飾り付けが楽しかった。これからも図工の勉強を頑張りたい」と笑顔で話してくれました。



▲着ぐるみの頭にリボンを飾り付ける児童

## 日本の伝統文化に触れる

### 斎川小学校で揮毫会開催

2月5日、書道なんでも無料相談員加藤豊帆さん（宮城教育大学名誉教授）の揮毫会が、斎川小学校で開催されました。この会には、斎川小・越河小・小原小・大平小の6年生合計34人が参加。この春、小学校を卒業する児童たちに、加藤さんが書道の基本十点画を用いて児童1人1人が希望した漢字一字を心を込めて丁寧に色紙に書き上げました。参加した児童の1人は「書くのが早けれど、すごく丁寧に書いてもらいました。自分では絶対にまねできない。記念に自分の部屋に飾ります」とうれしそうに話してくれました。



▲児童が見守る中、筆を振るう加藤さん（右手前）

## 高齢者等の見守りで連携

### 白石市高齢者等の見守りの取組に関する協力協定書

1月29日、本市と河北新報白石販売所（谷津芳男所長）は、「白石市高齢者等の見守りの取組に関する協力協定書」を締結しました。この日、防災センターで行われた締結式には、同販売所の谷津所長や河北新報社販売局の練生川雅志局長、風間市長など関係者12人が出席し、協定を締結。谷津所長は「市民の皆さんの安全・安心を守ることに貢献したい」とあいさつ。風間市長は「毎日見返っていただけることはとても心強い」と協力で感謝を述べていました。協定には、新聞配達や集金時に異変に気付いた場合、市に連絡することなどが盛り込まれました。



▲協定を結び握手を交わす谷津所長（左）と風間市長

## あくが抜けて甘みがアップ！

### 「寒ざらしそば」仕込み作業

1月20日、毎年恒例の「寒ざらしそば」仕込み作業が白石スキー場から林道を約2km入った垂清川上流で行われました。今回で12回目のこの作業には、白石興産株式会社の社員やそば屋の経営者など9人が参加。八宮農業生産組合が育てたそばの実「玄そば」540kgを「立春」までの2週間、蔵王の清流に浸しました。江戸時代、そばを保存するために行っていたこの「寒ざらしそば」は、近年、あくが抜けて甘みが増し、つるりとした喉ごしが楽しめるとして人気があります。市内では、材木岩公園内「なごみ茶屋」で3月19日（木）から提供されます。



▲気温氷点下4度の中、冷水の中に「玄そば」を浸す参加者の皆さん

## 思いやりの気持ちを大切に

### 白石第一小学校で人権教室

1月28日、人権擁護委員による「人権教室」が白石第一小学校で開催されました。この教室には、同校の5年生76人が参加。人権啓発アニメ「プレゼント」を鑑賞したり、詩「種をまこう」を朗読したりして、思いやりの気持ちや命の大切さ、ルールとマナー、暴力やいじめなどについて学びました。

参加した児童は「無視をただけや、ちょっとからかっただけと思っても、相手がいやがることはいじめになることが分かった」と話し、思いやる心や命の大切さを真剣に考えていました。



▲いじめについて児童たちと語り合う人権擁護委員の佐藤松代さん